

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	331	児童遊園等維持管理事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成11年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市地区公共施設修繕事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	地元行政区が管理している児童遊園10施設・児童遊園地24施設の不良箇所の修理修繕を行い、施設を利用する児童の安全を図る。 みよし市地区公共施設修繕等事業補助金交付要綱 補助率 事業費10千円までは地元負担 事業費10千円を越える部分の10分の9を補助 補助限度額 5,000千円 「SDGsの取り組み：3, 17」					児童遊園等施設の老朽化及び劣化による破損が増加するため、緊急的な修繕が必要となる。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①児童遊園・児童遊園地賠償責任保険加入、②児童遊園・児童遊園地遊具点検業務委託、③児童遊園・児童遊園地管理業務、④児童遊園・児童遊園地緊急修繕補助金交付等を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	児童遊園等施設の老朽化が進み、修繕箇所が増大している。				名称		単位					
					①	児童遊園・児童遊園地数	箇所					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
点検により不良と認められた遊具					名称		単位					
					①	点検により不良と認められた遊具数	箇所					
					②	修繕件数	箇所					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
適正な維持管理を行い、安全な公園施設を利用者に提供する					名称		単位					
					①	修繕箇所数/点検後不良箇所数	%					
					②	事故件数	件					
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
安全に利用できるよう公園緑地を管理する					名称		単位					
					①	児童遊園・児童遊園地の維持管理面積	ha					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 箇所	34	34	34	34	34	34	34			
		②										
(2)の 対象指標		① 箇所	1	1	0	1	1	1	1			
		② 箇所	0	1	0	1	1	1	1			
(3)の 成果指標		① %	0	100	100	100	100	100	100			
		② 件	0	0	0	0	0	0	0			
(4)の結果の 成果指標		① ha	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	04
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	5,105	8,205	7,420	13,418	8,428	8,428	8,428			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,105	8,205	7,420	13,418	8,428	8,428	8,428			
人件費B		千円	2,171.7	2,171.7	2,171.7	2,171.7	2,171.7	2,171.7	2,171.7			
正職員従事時間×人数		時間×人	104×6	104×6	104×6	104×6	104×6	104×6	104×6			
正職員以外の人件費		千円	100	100	100	100	100	100	100			
その他の費用C		千円	41	41	28	28	28	28	28			
トータルコストA+B+C		千円	7,317.7	10,417.7	9,619.7	15,617.7	10,627.7	10,627.7	10,627.7			
単位あたりコスト		① 千円/箇所	7,317.7	10,417.7	0	15,617.7	10,627.7	10,627.7	10,627.7			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/箇所	0	10,417.7	0	15,617.7	10,627.7	10,627.7	10,627.7			

事務事業名	No.	331	児童遊園等維持管理事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	児童遊園・児童遊園地施設であり、公共性が高い施設であるため
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	児童遊園・児童遊園地施設であり、公共性が高い施設であるため
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	児童遊園・児童遊園地施設であり、公共性が高い施設であるため
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	現在の維持管理方法により事故が発生していないため、この事業を継続する。	
	目的達成状況	内容	現在の維持管理方法により事故が発生していない	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 地元行政区が管理している児童遊園10施設・児童遊園地24施設の不良箇所の修理修繕を行い、補助金を交付する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化	対応策	公共施設修繕事業補助金の活用
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	賠償責任保険加入、遊具点検、施設管理、補助金交付	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 児童遊園等公園施設の老朽化が進み、修理修繕の必要箇所が増加するため、計画的な修理修繕も今後検討しなければならない。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	332	農村公園維持管理事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成14年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市地区公共施設修繕事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	農村総合整備事業で整備された農村公園施設（福田農村公園・明知上農村公園・筋生農村公園・高嶺農村公園）の修理修繕を行い、公園利用者の安全を図る。  みよし市地区公共施設修繕等事業補助金交付要綱 補助率：事業費10千円までは地元負担 事業費10千円を越える部分の10分の9を補助 補助限度額：5,000千円 「SDGsの取り組み：3,17」					農村公園施設の老朽化及び劣化による破損が増加するため、緊急的な修繕が必要となる。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①農村公園等賠償責任保険加入、②農村公園遊具点検業務、③農村公園維持管理業務、④農村公園緊急修繕事業補助金交付等を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	農村公園施設の老朽化が進み、修繕の必要箇所が増大している。				名称		単位					
					① 農村公園数	箇所	②					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 点検により不良と認められた遊具					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 点検により不良と認められた遊具数	箇所	② 修繕箇所数	箇所				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 適正な維持管理を行い、安全な公園施設を利用者に提供する					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 修繕箇所数/点検後不良箇所数	%	② 事故件数	件				
結果(上位基本事業の意図) 安全に利用できるよう公園緑地を管理する					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 農村公園における維持管理面積	ha	②					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 箇所	4	4	4	4	4	4	4			
		②										
(2)の 対象指標		① 箇所	0	1	0	1	1	1	1			
		② 箇所	0	1	0	1	1	1	1			
(3)の 成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		② 件	0	0	0	0	0	0	0			
(4)の結果の 成果指標		① ha	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	01	目	07
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A		単位	451	1,180	1,000	3,180	1,190	1,190	1,190			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	451	1,180	1,000	3,180	1,190	1,190	1,190			
人件費B		千円	1,504.2	1,504.2	1,513.2	1,513.2	1,513.2	1,513.2	1,513.2			
正職員従事時間×人数		時間×人	73×6	73×6	73×6	73×6	73×6	73×6	73×6			
正職員以外の人件費		千円	50	50	59	59	59	59	59			
その他の費用C		千円	20	20	16	16	16	16	16			
トータルコストA+B+C		千円	1,975.2	2,704.2	2,529.2	4,709.2	2,719.2	2,719.2	2,719.2			
単位あたりコスト		① 千円/箇所	0	2,704.2	0	4,709.2	2,719.2	2,719.2	2,719.2			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/箇所	0	2,704.2	0	4,709.2	2,719.2	2,719.2	2,719.2			

事務事業名	No.	332	農村公園維持管理事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	農村公園施設であり、公共性が高い施設であるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	農村公園施設であり、公共性が高い施設であるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	農村公園施設であり、公共性が高い施設であるため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	現在の管理方法により事故が発生していないため、この事業を継続する。	
	目的達成状況	内容	現在の維持管理方法により事故が発生していない	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 地元行政区が管理している農村公園の不良箇所の修理修繕を行い、補助金を交付する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化	対応策	公共施設修繕事業補助金の活用
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	賠償責任保険加入、遊具点検、施設管理、補助金交付	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 農村公園施設の老朽化が進み、修理修繕の必要箇所が増加するため、計画的な修理修繕も今後検討しなければならない。			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	248	緑と花の推進委員会補助事業						
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業	緑のまちづくり							
	主管課名		産業課		課長名	光岡 公利					
	この事務事業の開始時期		平成8年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市緑と花の推進委員会規約								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	自然環境の保全、緑の愛護、環境美化の推進を図り、 緑と花の豊かな郷土の建設に寄与することを目的とし た団体に補助。  「SDGsの取り組み：11, 15」				①地区公共施設緑花推進事業 ②道路等景観・環境美化推進事業 ③さくらの園区域内の桜の木の維持管理事業 ④啓発運動事業 ⑤講習会及び研修会開催 以上の、各事業を実施。 住民の緑化に対する意識が高まる今日、うるおいのあ るまちづくりを目指す意味でも、今後も継続が必要な 事業である。						
	R2年度に実施した具体的な 事業の方法、手順、指標に対す る成果等		学識研究者、市内の各種団体の代表者、緑化推進に理解のある者で組織する「緑と花の推進委員会」に対し活動費約3,694千円のうち、2,833千円の補助金を交付した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	特に変化はしていない。			名称		単位					
				① 緑と花の推進委員会委員数		人					
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民				名称		単位					
				① 人口		人					
				②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
公共施設を緑や花で被うことにより市民の緑化意識の向上を図る。				名称		単位					
				① 活用者数		人					
				②							
結果(上位基本事業の意図)				(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
緑豊かな街並景観をつくる。				名称		単位					
				① 公共施設などの花苗植栽本数		本					
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人	31	31	31	31	31	31	31			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880			
	②										
(3)の 成果指標	① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 本	19,950	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A	単位	3,156	3,300	2,833	3,300	3,300	3,300	3,300			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	3,156	3,300	2,833	3,300	3,300	3,300	3,300		
人件費B	千円	2,257.6	2,257.6	2,257.6	1,021.9	1,021.9	1,021.9	1,021.9			
正職員従事時間×人数	時間×人	170×4	170×4	170×4	52×3	52×3	52×3	52×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	504	504	504	504			
その他の費用C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	5,413.6	5,557.6	5,090.6	4,321.9	4,321.9	4,321.9	4,321.9			
単位あたりコスト	① 千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			



事務事業名	No.	248	緑と花の推進委員会補助事業
-------	-----	-----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	毎年、花づくり推進員を中心に公共施設を緑で被っていたが、市民の緑化意識が向上し、緑の募金の増収が見込まれている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	緑の募金の市民への還元として行っている事業であり、対象を見直すことはない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象と同じく、目的を見直すことはない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	毎年の募金収入によって総事業費が左右されるため、募金収入を向上させることによって、事業の成果も向上させることができる。	
	目的達成状況	内容	十分に達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 みよし市緑花推進事業補助金	
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	補助事業の性質上、統廃合できる事業がない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	現状では見当たらない。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	募金による運営のため、受益者負担にはそぐわない。

3 改 革 改 善 案  A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	特になし	対応策	特になし
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	緑と花の推進委員の活動費を補助し、市内緑化に努めた。	変 更 追 加	継続して事業を進めていく。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容特になし			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	249	花苗配布事業						
	この事務事業の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業	緑のまちづくり							
	主管課名		産業課			課長名	光岡 公利				
	この事務事業の開始時期			平成2年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令			特に無し							
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	住民の緑化に対する意識が高まる今日、うるおいのあるまちづくりを目指す意味において、花苗を1世帯当たり1鉢、配布する。  「SDGsの取り組み：11, 15」					花苗の配布については、各行政区で実施されるイベントの開催にあわせて配布。 「緑と花のあふれるまちづくり」を目的に各家庭での緑化推進を図る必要がある。					
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			各行政区で開催されるイベント等に合わせて花苗を配布した。当該花苗の育成及び配布をシルバー人材センターに委託した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	人口の増加に伴い、配布世帯数も増加している。新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントを中止し、配布をやめた行政区があった。				名称			単位			
					① 配布した花苗数			苗			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市民					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
					名称			単位			
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) より多くの家庭で花苗を育ててもらう。					名称			単位			
					① 花苗配布した行政区数/全行政区数			%			
結果(上位基本事業の意図) 緑豊かな街並景観をつくる。					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
					名称			単位			
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標					① 公共施設などの花苗植栽本数			本			
					②						
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 苗	24,000	24,575	14,190	24,786	24,890	24,994	25,097			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880			
	②										
(3)の 成果指標	① %	100	100	84	100	100	100	100			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 本	19,950	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	2,082	2,204	2,203	2,307	2,309	2,318	2,327			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
一般財源	千円	2,082	2,204	2,203	2,307	2,309	2,318	2,327			
人件費B	千円	929.6	929.6	1,035.8	816.2	816.2	816.2	816.2			
正職員従事時間×人数	時間×人	70×4	70×4	78×4	70×3	70×3	70×3	70×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	119	119	119	119			
その他の費用C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	3,011.6	3,133.6	3,238.8	3,123.2	3,125.2	3,134.2	3,143.2			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名	No.	249	花苗配布事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	1世帯に1苗配布することにより緑化意識の向上に寄与している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市民の緑化意識の向上が前提のため、対象は変更しない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象と同じく、目標は変更しない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	市内全世帯に配布予定のため事業の成果はあるが、昨年は新型コロナウイルス感染症のため、配布を中止した行政区があった。		
		目的達成状況	内容	市内全世帯分の花苗が配布できている。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 シルバー人材センターの雇用にも寄与している。		
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	行政区を通して配布している事業があり、協働推進課の事業との統合できる可能性はある。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	市内全世帯が対象である以上、数量は減らせない。現在のシルバーによる栽培委託は花苗を買いつけるより、かなり費用も抑えられている。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	意識向上のための配布で受益者負担を求めることはできない。		

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	特になし	対応策	特になし
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	市内全世帯へ花苗を配布する。	変更 追加	世帯数の増減によって配布数も増減する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 平成2年より本事業を開始したが、事業開始後30年以上が経過し市民の緑化、環境美化に対する意識は向上しているため当初の目的は達成したと思われる。今後は公共施設の緑化維持、美化活動等への支援へ移行していきたい。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			



# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	250	記念樹配布事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		産業課		課長名	光岡 公利						
	この事務事業の開始時期			昭和48年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令			特に無し								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	市民が、緑に感謝し、緑を慈しみ、緑に親しみ、もって緑化意識の高揚を図ることを目的とし、人生の節目に夢や希望、願いを込め、緑化木等を記念樹として配布する。 ①新築 ②出生 ③小学校入学 樹種・ハナミズキ ・ヤマボウシ・モッコウバラ等  「SDGsの取り組み：11, 15」					「緑と花のあふれるまちづくり」を目的に各家庭での緑化推進を図る。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			ヤマボウシ、イチゴノキ、西洋ニンジンボク、ジュンベリー各35本、シモツケ45本、小学校入学（シモツケ）705本、計890本の樹木を記念樹として配布のため準備した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	例年、記念樹配布の対象者は一定数いるが、新築・出生については受け取りに来る人数が少なくなっている。				名称		単位					
					① 記念樹受取者数	人						
		②										
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
新築、出生、小学校入学者					名称		単位					
		① 記念樹配布対象者					人					
		②										
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
より多くの対象者に記念樹を植えてもらい、緑豊かな市にする。					名称		単位					
		① 記念樹受取者数/記念樹配布対象者					%					
		②										
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
緑豊かな街並景観をつくる。					名称		単位					
		① 公共施設などの花苗植栽本数					本					
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	843	824	826	824	824	824	824			
		②										
(2)の 対象指標		① 人	1,462	1,420	1,402	1,420	1,420	1,420	1,420			
		②										
(3)の 成果指標		① %	57.6	58	58.9	58	58	58	58			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 本	19,950	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	685	788	774	785	785	785	785			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	685	788	774	785	785	785	785			
人件費B		千円	796.8	796.8	826.7	617	617	617	617			
正職員従事時間×人数		時間×人	80×3	80×3	83×3	75×2	75×2	75×2	75×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	119	119	119	119			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	1,481.8	1,584.8	1,600.7	1,402	1,402	1,402	1,402			
単位あたりコスト		① 千円/人	1	1.1	1.1	1	1	1	1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	250	記念樹配布事業
-------	-----	-----	---------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	年々記念樹を受け取る方は少なくなっているが、記念樹を楽しみにしている人は一定数存在している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	出生の場合、対象を男児、女児で樹種を分けていたが、社会情勢に合わせて今年度より一本化した。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	緑化推進という目的は変わらない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		鉢植の花も選択肢に加えると、受取者の増加につながる。
	目的達成状況	内容		概ね達成できている。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営	配布する委託費等に比べれば、緑と花のセンターでの引き換えの方が妥当と思われる。
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		記念樹を配布するという内容で統合できる事業がない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容		現状では見当たらない。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	記念品の配布という側面がある以上、受益者負担はそぐわない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	賃貸住宅への居住者の増加や、新築しても樹木を植栽するスペースが無いなど、配布対象者が減少している。	対応策	住宅事情を考慮した記念樹の種類を検討する。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	出生及び新築の対象者へ記念樹を配布する。	変更・追加	樹種の選択制の追加。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 社会情勢や、各家庭の事情を考慮し、記念樹の樹種の配慮や配布方法（園芸店等での引換券方式等）の検討をする。 新築、出生で樹種を限定せず、好きな樹木を選べる様に、樹種を追加する。花の追加を検討する。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	333	森林病虫害防除事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		緑のまちづくり							
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成19年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	公共施設敷地内の松くい虫等の被害にあった樹木を早期に伐倒処分し、被害拡大を防止して森林の保全を図る。 「SDGsの取り組み：15」					松枯れ等防止対策としては、薬剤散布による防除が廃止されたため、被害が発生した場合は、被害を受けた部分の樹木伐倒処理が現在のところ最良の方策である。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			公共施設敷地内で松くい虫等の被害が発生した樹木を伐倒処分し、被害拡大を防止して森林保全に努めた。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	農薬散布での防除ができなくなった。				名称		単位					
					① 公共施設敷地内の松くい虫等被害伐倒数		本					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
公共施設敷地内の松くい虫等被害木					名称		単位					
					① 松くい虫等被害樹木本数		本					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
松くい虫等による被害樹木を早期に伐倒し、他の樹木への被害拡大を防止する					名称		単位					
					① 松くい虫等被害伐倒数/松くい虫等被害数		%					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
市内に残る貴重な里山を保全し活用する					名称		単位					
					① 鎮守の森の保全面積		ha					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 本	208	208	174	174	174	174	174			
		②										
(2)の 対象指標		① 本	208	208	174	174	174	174	174			
		②										
(3)の 成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① ha	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	5,979	6,700	6,464	6,000	6,700	6,700	6,700			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	5,979	6,700	6,464	6,000	6,700	6,700	6,700		
人件費B		千円	2,351.4	2,351.4	2,388.4	2,388.4	2,388.4	2,388.4	2,388.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	108×6	108×6	108×6	108×6	108×6	108×6	108×6			
正職員以外の人件費		千円	200	200	237	237	237	237	237			
その他の費用C		千円	20	20	16	16	16	16	16			
トータルコストA+B+C		千円	8,350.4	9,071.4	8,868.4	8,404.4	9,104.4	9,104.4	9,104.4			
単位あたりコスト		① 千円/本	40.1	43.6	51	48.3	52.3	52.3	52.3			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	333	森林病虫害防除事業
-------	-----	-----	-----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全するため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	予防方法が確立されていないため、現在の方法で実施します。	
	目的達成状況	内容	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 公共施設敷地内で松くい虫等の被害が発生した樹木を伐倒処分し、被害拡大を防止して森林保全に努める。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	枯木倒木による人的被害、他の財産への影響	対応策	定期的な巡回調査により、早期発見し、倒木前に撤去する。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	松くい虫等被害樹木を伐倒処分し、被害拡大防止	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも巡回調査により病虫害被害を早期に発見し、早期に駆除することにより森林の保全に努める。		
コストの方向性			↑ 増加		
成果の方向性			→ 維持		

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	334	緑化指定地区保全事業					
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち					
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう					
			基本事業		緑のまちづくり					
	主管課名		公園緑地課		課長名	石川 重之				
	この事務事業の開始時期		昭和53年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		みよし市緑化指定地区保全活動報奨金基準							
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全を目的に、行政区主催による樹木保全活動を支援する。  要綱改正により報奨金を改正した。 緑化指定面積×25円/m <sup>2</sup> 「SDGsの取り組み：15, 17」		緑豊かな自然環境を保全するために、この事業は必要である。							
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		緑化指定地区保全活動計画書を受付し、保全活動完了後、緑化指定地区保全活動実績報告書に基づき現地確認を行い報奨金を交付した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか		(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	農薬を使用した防除ができなくなってきた。				名称		単位			
			①	緑化指定地域樹木保全活動実施面積		m <sup>2</sup>				
			②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)		(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
市緑化指定地域の樹林地				名称		単位				
		①	緑化指定地域面積		m <sup>2</sup>					
		②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)		(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
緑化指定地域の樹林地を適正に管理してもらう				名称		単位				
		①	地域樹木保全活動実施面積/地域面積		%					
		②								
結果(上位基本事業の意図)		(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
市内に残る貴重な里山を保全し活用する				名称		単位				
		①	鎮守の森の保全面積		ha					
		②	保全組織数		数					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
(1)の 活動指標	① m <sup>2</sup>	47,800	47,800	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000		
	②									
(2)の 対象指標	① m <sup>2</sup>	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000		
	②									
(3)の 成果指標	① %	98	98	100	100	100	100	100		
	②									
(4)の結果の 成果指標	① ha	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9		
	② 数	12	12	12	12	12	12	12		
予算費目	会計	01 一般会計			款	06	項	02	目	01
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	1,225	1,313	1,225	1,313	1,225	1,225	1,225		
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	1,225	1,313	1,225	1,313	1,225	1,225	1,225		
人件費B	千円	458.2	458.2	462.2	462.2	462.2	462.2	462.2		
正職員従事時間×人数	時間×人	33×4	33×4	33×4	33×4	33×4	33×4	33×4		
正職員以外の人件費	千円	20	20	24	24	24	24	24		
その他の費用C	千円	20	20	16	16	16	16	16		
トータルコストA+B+C	千円	1,703.2	1,791.2	1,703.2	1,791.2	1,703.2	1,703.2	1,703.2		
単位あたりコスト	① 千円/m <sup>2</sup>	0	0	0	0	0	0	0		
	(トータルコスト/(2)の対象指標) ② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		



事務事業名	No.	334	緑化指定地区保全事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	良好な自然環境を保全するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	良好な自然環境を保全するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	良好な自然環境を保全するため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	成果は達成されているため、維持する。	
	目的達成状況	内容	良好な自然環境を保全している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全を目的に、行政区主催による樹木保全活動を報奨金により支援する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	鎮守の森等の適正な維持管理	対応策	行政区の活動と市の支援
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	活動実績確認、報奨金交付	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市の自然環境の保全を図るためには、各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全が必要となるため、今後も本事業を継続していく。また、未指定の鎮守の森を新たに指定し、緑地保全に努めたい。		
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	335	公共施設緑化推進事業							
	この事務事業の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課		課長名	石川 重之						
	この事務事業の開始時期		平成12年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	公共用地の緑化を推進することにより、緑に恵まれた安らぎと潤いのあるまちづくりを推進する。 「SDGsの取り組み：15」				公共施設の緑化を推進し、住民の緑化意識の高揚に努めるために、本事業は必要である。							
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			水環境整備施設（福田新池、百々池、大力池）維持管理委託業務								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	公共用地内の緑が増え、訪れる市民に安らぎをあたえている。			名称		単位						
				① 緑化推進地区公共用地の緑化面積	m <sup>2</sup>							
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
緑化推進地区の公共用地				名称		単位						
				① 緑化推進地区の公共用地面積		m <sup>2</sup>						
				②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
緑と花のある公共用地にする				名称		単位						
				① 公共用地の緑化面積/公共用地面積		%						
				②								
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
計画的に公園緑地の整備を進める				名称		単位						
				① 市民1人当り公園緑地供用面積		m <sup>2</sup> /人						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の活動指標		① m <sup>2</sup>	70,856	70,856	70,856	70,856	70,856	70,856	70,856			
		②										
(2)の対象指標		① m <sup>2</sup>	70,856	70,856	70,856	70,856	70,856	70,856	70,856			
		②										
(3)の成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の成果指標		① m <sup>2</sup> /人	14.94	14.94	16.34	16.34	16.34	16.34	16.34			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	3,151	4,376	4,061	4,196	4,376	4,376	4,376			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	3,151	4,376	4,061	4,196	4,376	4,376	4,376			
人件費B		千円	1,268.6	1,268.6	1,286.6	1,286.6	1,286.6	1,286.6	1,286.6			
正職員従事時間×人数		時間×人	88×4	88×4	88×4	88×4	88×4	88×4	88×4			
正職員以外の人件費		千円	100	100	118	118	118	118	118			
その他の費用C		千円	20	20	16	16	16	16	16			
トータルコストA+B+C		千円	4,439.6	5,664.6	5,363.6	5,498.6	5,678.6	5,678.6	5,678.6			
単位あたりコスト		① 千円/m <sup>2</sup>	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	335	公共施設緑化推進事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	良好な自然環境の保全と、緑と花のまちづくりを行うため
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	良好な自然環境の保全と、緑と花のまちづくりを行うため
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	良好な自然環境の保全と、緑と花のまちづくりを行うため
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	成果は達成されているため、維持する。	
	目的達成状況	内容	良好な自然環境の保全と、緑と花のまちづくりを行っている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 水環境整備施設（福田新池、百々池、大力池）維持管理委託業務	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化	対応策	計画的な修理修繕
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	水環境整備施設維持管理	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 公共施設の緑化推進を図るために、今後も本事業を継続していく。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	253	自然林保全事業							
	この事務事業の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		緑のまちづくり							
	主管課名		産業課		課長名	廣瀬 敏文						
	この事務事業の開始時期			昭和26年		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令			森林法								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	県が作成する地域森林計画の対象となる民有林（地域対象民有林）について、森林法に基づく届出の確認、県への協議その他法令に基づく事務手続きを適正に行い、みよし市森林整備計画による地域対象民有林の整備、保全等を行う。 「SDGsの取り組み：15」					森林法に基づく地域対象民有林や保安林の適正な保全管理を行う。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			森林法に基づく届け出の確認、県への通知								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位					
					① 伐採、造林の届出件数		件					
					②							
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
地域対象民有林					名称		単位					
					① 地域対象民有林の面積		ha					
					②							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
伐採、伐採後の造林の状況把握による地域対象民有林の保全					名称		単位					
					① 伐採届出面積		ha					
					② 造林届出面積		ha					
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
市内に残る貴重な里山を保全し活用					名称		単位					
					① 森林面積		ha					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
(1)の活動指標		① 件	1	1	1	1	1	1	1			
		②										
(2)の対象指標		① ha	149	149	144	144	144	144	144			
		②										
(3)の成果指標		① ha	0.03	0.03	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13			
		② ha			0	0.13	0.13	0.13	0.13			
(4)の結果の成果指標		① ha	151	151	148	148	148	148	148			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	10	42	42	61	10	10	10			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	10	42	42	61	10	10	10		
人件費B		千円	212.5	212.5	212.5	212.5	212.5	212.5	212.5			
正職員従事時間×人数		時間×人	32×2	32×2	32×2	32×2	32×2	32×2	32×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	222.5	254.5	254.5	273.5	222.5	222.5	222.5			
単位あたりコスト		① 千円/ha	1.5	1.7	1.8	1.9	1.5	1.5	1.5			
(トータルコスト/②)の対象指標		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	253	自然林保全事業
-------	-----	-----	---------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	みよし市森林整備計画による地域対象民有林の保全を行う。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象を見直すことは出来ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直すことは出来ない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		法による届出制度の周知徹底。
	目的達成状況	内容		森林法に基づく届出の確認、県への通知。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 県への負担金。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		統廃合は出来ない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容		現状より、事業費・人件費の削減は出来ない。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	森林の占める面積割合が小さく、森林業に携わる者が少ない状況で、森林保全が適正な管理。	対応策	森林保全が適正に行われるための制度の周知、情報提供を行う。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	森林法に基づく届け出の確認、県への通知。	変更・追加	変更・追加なし。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 県森林協会等の関係機関との連携を図り、効率的な事務の遂行を図る。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			



# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	337	都市緑化推進事業						
	この事務事業の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業	緑のまちづくり							
	主管課名		公園緑地課		課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成24年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	愛知県が施行する「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助」を活用した都市緑化を推進する。また、県費対象外の小規模緑化事業についても市単独費で補助する。 「SDGsの取り組み：15, 17」				都市の温暖化の緩和、景観の向上また、火災時の類焼防止のため民有地における緑化活動に対して補助し高規格な緑を整備する。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①住民参加緑づくり事業 1件							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	都市の緑化がもとめられている。				名称		単位				
					① 補助金の交付件数		件				
					②						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
①市民					名称		単位				
					① 人口		人				
					②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
本事業を活用して、道路から見える公共用地以外の土地の緑化を図る					名称		単位				
					① 補助金交付件数/補助金交付申請件数		%				
					②						
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
緑豊かな街並景観をつくる					名称		単位				
					① 緑化された面積		m <sup>2</sup>				
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 件	1	1	1	1	1	1	1			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	61,040	61,040	61,236	61,236	61,236	61,236	61,236			
	②										
(3)の 成果指標	① %	100	100	100	100	100	100	100			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① m <sup>2</sup>	0	300	14	300	300	300	300			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	01
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	240	6,503	231	6,503	6,503	6,503	6,503			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	237	6,000	210	6,000	6,000	6,000			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	3	503	21	503	503	503			
人件費 B	千円	690.6	690.6	692.6	692.6	692.6	692.6	692.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	41×5	41×5	41×5	41×5	41×5	41×5	41×5			
正職員以外の人件費	千円	10	10	12	12	12	12	12			
その他の費用 C	千円	20	20	16	16	16	16	16			
トータルコスト A+B+C	千円	950.6	7,213.6	939.6	7,211.6	7,211.6	7,211.6	7,211.6			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0.1	0	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	337	都市緑化推進事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	住宅地の緑化を推進するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	住宅地の緑化を推進するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	住宅地の緑化を推進するため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	事業のPRを行ってはいるが、企業や個人からの申請事業であり、成果をこれ以上向上することは難しい。	
	目的達成状況	内容	住宅地の緑化を推進している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 県費対象外の小規模緑化事業についても市単独費で補助する。	
効 率 性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改 革 改 善 案  A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	補助金の件数が少ない。	対応策	広報・ホームページ等で情報発信する。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	補助金交付	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 都市緑化の推進を図るため、今後も事業を継続していく。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	339	都市公園整備事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		緑のまちづくり							
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期			昭和45年都市計画決定		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令			都市公園法								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	良好で快適な都市環境を創造するために、地域の実情に応じた緑豊かな公園施設等を整備する。 「SDGsの取り組み：3, 15」					住民の憩いの場や健康づくりの場として整備を行うために、本事業は必要である。  【総合体育館大規模改修】 老朽化の進む総合体育館の施設改修を行う。 受水槽・送風機更新、照明・空調等設備更新、動力盤更新、発電機設備更新など。 【保田ヶ池公園拡張】						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①三好公園整備工事（植栽等）、②福谷公園基本構想策定業務委託、③保田ヶ池公園整備工事（園路・広場整備等）、④総合体育館大規模改修工事（電気、機械、建築）、⑤中島1号公園整備工事等を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	公園に対する住民の考え方、利用の方法が多様化してきている。				名称		単位					
					①	都市計画決定公園面積	ha					
		②										
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①住民					名称		単位					
		①	人口		人							
		②										
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①公園、緑地を快適にかつ安全な空間にする。					名称		単位					
		①	都市公園、都市緑地供用面積		ha							
		②										
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
①計画的に公園緑地の整備を進める。					名称		単位					
		①	市民1人当りの公園緑地供用面積		m <sup>2</sup> /人							
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① ha	150.58	150.58	150.58	150.58	150.58	150.58	150.58			
		②										
(2)の 対象指標		① 人	61,040	61,040	61,236	61,236	61,236	61,236	61,236			
		②										
(3)の 成果指標		① ha	91.2	91.2	100.07	100.07	100.07	100.07	100.07			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① m <sup>2</sup> /人	14.94	14.94	16.34	16.34	16.34	16.34	16.34			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	05
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	265,108	435,554	379,106	329,579	809,207	462,159	301,260			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	11,000	5,400	4,000	14,880	30,000	60,000	50,000		
	県支出金		千円	25,000	25,000	25,000	3,500	5,500	0	0		
	地方債		千円	9,900	5,400	3,600	78,000	204,000	81,000	45,000		
	その他		千円	187,844	244,800	246,584	50,000	150,800	36,200	0		
	一般財源		千円	31,364	154,954	99,922	183,199	418,907	284,959	206,260		
人件費B		千円	4,920.3	4,920.3	4,920.3	4,920.3	4,920.3	4,920.3	4,920.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	369×4	369×4	369×4	369×4	369×4	369×4	369×4			
正職員以外の人件費		千円	20	20	20	20	20	20	20			
その他の費用C		千円	428	428	343	343	343	343	343			
トータルコストA+B+C		千円	270,456.3	440,902.3	384,369.3	334,842.3	814,470.3	467,422.3	306,523.3			
単位あたりコスト		① 千円/人	4.4	7.2	6.3	5.5	13.3	7.6	5			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	339	都市公園整備事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図るため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図るため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図るため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	成果の向上は依存財源（国、県の補助）の確保によるところが大きく、今後も補助を活用して事業を進めたい。	
	目的達成状況	内容	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図っている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 三好公園整備工事等を実施した。	
効 率 性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改 革 改 善 案  A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	未整備の公園の早期整備	対応策	依存財源を確保しつつ、計画的な整備を進める
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	公園整備工事、大規模改修工事	変更・追加	公園拡張
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容整備に際し、出来るだけ現況を生かした工法を採用する。 リサイクル材の活用や、耐用年数の長い資材を使用する。 設計業務を専門業者へ発注する。			
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		↑ 増加			

# 令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	340	公園維持管理事業					
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち						
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう						
			基本事業	緑のまちづくり						
	主管課名		公園緑地課		課長名	石川 重之				
	この事務事業の開始時期		昭和45年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		都市公園法							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	公園緑地施設の適正な維持を行い、公園利用者の安全を確保する。また、公園緑地内の樹木の適正な維持管理を行い、都市景観の向上及び緑豊かな自然環境の保全を図る。 「SDGsの取り組み：3, 15」				公園緑地の適正な維持維持管理を行い、安全で快適な公園緑地としての景観保全に努める。					
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①公園緑地の捕植 ②公園・緑地施設の緊急修繕 ③公園緑地施設の遊具点検業務 ④三好・保田ヶ池公園樹木管理業務 ⑤小坂公園他17管理業務 ⑥大沢公園他13維持管理業務委託 ⑦三好丘地区公園緑地管理業務 ⑧境川緑地管理業務 ⑨緑地・緑道管理業務 ⑩境川三好池花壇管理業務 ⑪公園樹木管理業務 ⑫三好公園池周辺管理業務 ⑬ポケットパーク管理業務 ⑭みどりのこみち管理委託 等を行った。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	少子高齢化による公園利用者の変化及び公園に対する要望が多様化してきている。			名称		単位				
				① 都市公園供用済面積	ha	② 遊具点検回数	回			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
都市公園、都市緑地				名称		単位				
				① 都市公園、都市緑地数	箇所					
				②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
適正な維持管理を行い、安全な公園施設を公園利用者に提供する				名称		単位				
				① 都市公園施設修繕件数	件					
				② 都市公園施設における事故件数	件					
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
安全に利用できるよう公園緑地を管理する				名称		単位				
				① 公園緑地における維持管理面積	ha					
				②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
(1)の 活動指標	① ha	91.2	91.2	100	100	100	100	100		
	② 回	12	12	12	12	12	12	12		
(2)の 対象指標	① 箇所	84	84	94	94	94	94	94		
	②									
(3)の 成果指標	① 件	100	100	100	100	100	100	100		
	② 件	0	0	0	0	0	0	0		
(4)の結果の 成果指標	① ha	91.2	91.2	100	100	100	100	100		
	②									
予算費目	会計	01 一般会計			款	08	項	04	目	06
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	326,902	278,344	253,644	286,493	338,769	425,456	336,721		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	5,551	644	3,747	654	654	654	654	
	一般財源	千円	321,351	277,700	249,897	285,839	338,115	424,802	336,067	
人件費B	千円	13,127.4	13,127.4	23,171.4	23,171.4	23,171.4	23,171.4	23,171.4		
正職員従事時間×人数	時間×人	658×6	658×6	658×6	658×6	658×6	658×6	658×6		
正職員以外の人件費	千円	20	20	10,064	10,064	10,064	10,064	10,064		
その他の費用C	千円	387	387	387	387	387	387	387		
トータルコストA+B+C	千円	340,416.4	291,858.4	277,202.4	310,051.4	362,327.4	449,014.4	360,279.4		
単位あたりコスト	① 千円/箇所	4,052.6	3,474.5	2,949	3,298.4	3,854.5	4,776.7	3,832.8		
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		



事務事業名	No.	340	公園維持管理事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	住民参加により管理により成果向上の余地はある。	
	目的達成状況	内容	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 公園・緑地施設の緊急修繕等実施	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	住民参加による公園管理を検討する。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化	対応策	計画的な修理修繕
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	補植、緊急修繕、遊具点検、樹木管理、施設管理、照明LED化	変更・追加	三好公園樹木対策
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 メンテナンスが比較的かからない施設への更新や、地域住民と一体となり協働による公園管理ができないか検討する。 高圧水銀ランプは令和2年末までに製造禁止になるため、公園照明をLED化への改修を継続的にする必要がある。			
	コストの方向性	↑ 増加			
	成果の方向性	→ 維持			